

【テーマ8】安全で安心な学びの場をつくります

めざす方向

- ◆耐震改修、老朽化対策など、府立学校の計画的な施設整備を推進します。
- ◆学校の危機管理体制を確立するとともに、児童・生徒が災害時に迅速に対応する力を育成します。
- ◆子どもへの交通安全・防犯教育を推進するとともに、地域との連携による子どもの見守り活動等を推進します。

府立学校の計画的な施設整備の推進

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H31.3月末時点）>
<p>■老朽化対策の計画的推進や教育環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> * 府立学校耐震性能向上・大規模改造事業 ・非構造部材の耐震化として、屋内運動場及び武道場等の天井・照明器具等の対策工事及び次年度工事に係る実施設計を行います。 * 府立学校老朽化対策事業 ・「府立学校施設整備方針」（平成27年度作成）を踏まえ、「長寿命化計画（個別施設計画）」の策定に取り組みます。 ・エレベーター改修工事 ・大規模改修工事及び次年度工事分に係る実施設計 ・生徒や教職員の安全安心を確保する上で必要となる緊急性の高い、消防設備やブロック塀等の改修工事 	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> * 府立学校の非構造部材の耐震化をすすめます。 <ul style="list-style-type: none"> ・屋内運動場及び武道場等の天井・照明器具等対策工事 高等学校 1校（工事） * 府立学校の老朽化対策をすすめます。 <ul style="list-style-type: none"> ・エレベーター改修工事 支援学校 4校（工事） 支援学校 2校（設計） ・大規模改修工事 高等学校 1校（工事） 高等学校 5校（設計） 支援学校 4校（工事） 支援学校 2校（設計） ・消防設備改修工事 高等学校 4校（工事） 高等学校 4校（設計） ・ブロック塀改修工事 高等学校 3校（工事） 高等学校 3校（設計） 	<p>○老朽化対策の計画的推進や教育環境の改善 ※大阪北部地震および台風21号被害の影響により、設計・工事の一部を延期した。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 府立学校耐震性能向上・大規模改造事業 ・屋内運動場及び武道場等の天井・照明器具等対策工事 高等学校 1校 (次年度へ一部工事繰越・耐震化は完了) * 府立学校老朽化対策事業 ・エレベーター改修工事 支援学校 4校（工事済） 支援学校 2校（設計済） ・大規模改修工事 高等学校 1校（工事済） 高等学校 5校 (3校設計済、2校延期) 支援学校 4校（工事済） 支援学校 2校（設計済） ・消防設備改修工事 高等学校 4校（工事済） 高等学校 4校（設計済） ・ブロック塀改修工事 高等学校 19校（工事済） 高等学校 3校 (次年度へ繰越) 支援学校 2校（工事済） 高等学校 47校（設計済） 支援学校 4校（設計済） <p>※地震によるブロック塀倒壊事故を受け、優先度の高い順に①～④の категорияに分類の上、ブロック塀を順次撤去する方針をまとめ、方針に基づき対応した。</p>

* 府立高校学習環境改善事業
 ・府立高校の1系統のトイレの全面改修（平成31年度完了予定）を行います。

* 府立学校施設・設備改修事業
 ・エレベーター、スロープの設置等のバリアフリー化を行います。

* アスベスト対策事業
 ・除去工事におけるアスベストの確認方法や、囲い込み等による対応済み箇所の点検及び補修方策等を検討します。

* 府立高校学習環境改善事業
 ・トイレ改修工事 高等学校 50校（工事）
 高等学校 35校（設計）

* 府立学校の施設・設備の福祉整備等をすすめます。
 ・エレベーター設置工事 高等学校 1校（工事）
 高等学校 3校（設計）
 ・エレベーター改修工事 高等学校 3校（工事）
 高等学校 2校（設計）
 ・福祉整備工事 高等学校 2校

* アスベスト対策事業
 ・囲い込み・シーリング打ち替え工事
 高等学校 4校（設計）

* 府立高校学習環境改善事業
 ・トイレ改修工事 高等学校 40校（工事済）
 10校（工事延期）
 高等学校 6校（設計済）
 29校（設計延期）

* 府立学校施設・設備改修事業
 ・エレベーター設置工事 高等学校 1校（工事済）
 高等学校 3校（設計延期）
 ・エレベーター改修工事 高等学校 3校（工事済）
 高等学校 2校（設計済）
 ・福祉整備工事 高等学校 2校
 （設計済、工事延期）

* アスベスト対策事業
 ・囲い込み・シーリング打ち替え工事
 高等学校 4校（設計済）

災害時に迅速に対応するための備えの充実

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）>

■ 学校の防災力の向上

- ・「学校における防災教育の手引き」の活用により、防災教育の充実を図るとともに、学校の実態に応じ、地域と連携した様々な自然災害を想定した実践的な避難訓練を実施します。
- ・南海トラフ地震による津波被害が想定される学校においては、対応フローチャート「津波発生時対応シミュレーション」を活用することにより、災害発生時の迅速な避難行動につなげます。
- ・学校安全活動において中核となる学校安全担当者を明確にし、適宜、学校の危機管理マニュアルの見直しを行い、校内体制を確立します。
- ・全府立学校において、各市町村と連携し、策定した「大規模災害時初期対応マニュアル」について適宜見直しを行い、災害時に迅速に対応するための備えを充実させます。

<何をどのような状態にするか（目標）>

◇成果指標（アウトカム）
 （数値目標）



- ・地域と連携した、自然災害を想定した避難訓練の実施率の向上をめざします。
 （参考）平成29年度
 地域と連携した自然災害を想定した避難訓練の実施率

公立小学校	48.3%
公立中学校	13.6%
公立高校	13.8%
支援学校	38.3%

<進捗状況（H31.3月末時点）>

- 学校の防災力の向上
- ・担当指導主事等が集まる連絡会等において、昨年の地震や災害を踏まえ、「学校における防災教育の手引き（平成28年4月改訂）」を参考に、学校・地域の実態に応じた防災教育の充実や、地域と連携した避難訓練等の実施について働きかけた。
- ・「府立学校に対する指示事項」、「市町村教委に対する指導・助言事項」に学校安全活動において、すべての教職員が役割を分担するとともに、中核となる学校安全担当者を明確にし、学校安全の推進体制を整備することを明記した。
- ・府立学校における「大規模災害時初期対応マニュアル」については、ほとんどの学校において見直しを完了した。
- ・地域と連携した自然災害を想定した避難訓練の実施率

公立小学校	50.3%
公立中学校	16.0%
公立高校	15.7%
支援学校	38.3%

学校内外の安全対策の取組みの推進														
＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）＞	＜何をどのような状態にするか（目標）＞	＜進捗状況（H31.3月末時点）＞												
<p>■交通安全教育の充実 </p> <p>・「スクエアドストレイト教育技法(*18)」や「自転車シミュレーター」を活用した実践事例の普及や研修の実施、様々な教材等の活用により、交通安全教育の充実を図るとともに、自転車の利用に係る交通安全教室を開催し、自転車による事故防止や被害者保護を図ります。</p> <p> は、公私双方を対象とする取組み</p>	<p>◇成果指標（アウトカム）</p> <p>（数値目標）</p> <p>・交通安全教室の実施率100%の維持をめざします。</p> <p>（参考）平成29年度 交通安全教室の実施率</p> <table border="0"> <tr> <td>公立小学校</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>公立中学校</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>府立学校</td> <td>100%</td> </tr> </table>	公立小学校	100%	公立中学校	100%	府立学校	100%	<p>○交通安全教育の充実</p> <p>・国の事業を活用し、スクエアドストレイトを活用した交通安全教室を府内6校（府立3校・市町村立3校）で実施した。</p> <p>・交通安全教室について調査し、取組みが不十分な学校へ指導し、充実を図った。</p> <p>交通安全教室の実施率</p> <table border="0"> <tr> <td>公立小学校</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>公立中学校</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>府立学校</td> <td>100%</td> </tr> </table>	公立小学校	100%	公立中学校	100%	府立学校	100%
公立小学校	100%													
公立中学校	100%													
府立学校	100%													
公立小学校	100%													
公立中学校	100%													
府立学校	100%													